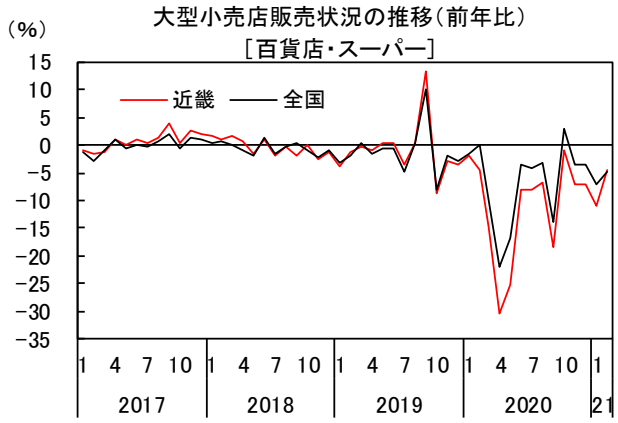
りそな総合研究所
RESONA

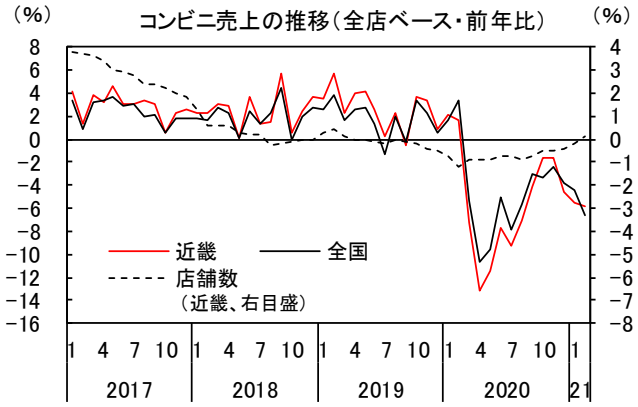
2021 年 3 月 30 日

関西の景気トピックス【消費関連（21 年 2 月）】

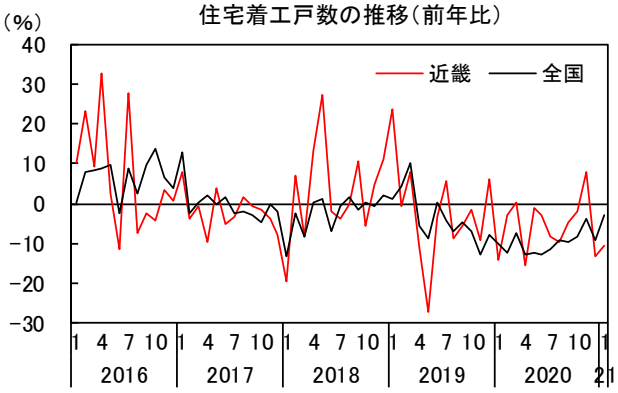
- ○ 21 年 2 月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比マイナス 4.6%と 17 か月連続の減少となっている。緊急事態宣言に伴う時短営業や外出自粛の影響などで、売上が押し下げられた（業態別には、百貨店が 7.3%減、スーパーが 3.0%減）。減少幅は前月よりも縮小したが、前年の 2 月には既にコロナの影響が始まっていたことが主因である。
- ○ コンビニ売上（経済産業省）の 2 月は、全店ベースで前年比マイナス 5.9%と 12 か月連続で減少した。外出の自粛などによる悪影響が続いている。
- ○ 住宅着工戸数（国土交通省）の 1 月は、前年比マイナス 10.6%と 2 か月連続の減少となった。内訳では、貸家、分譲が減少となっている。
- ○ 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向は、大阪はかねてから減少傾向が続いている。新型コロナウイルスの影響が所得環境の悪化につながっていることから、今後も引き続き注意が必要となろう。



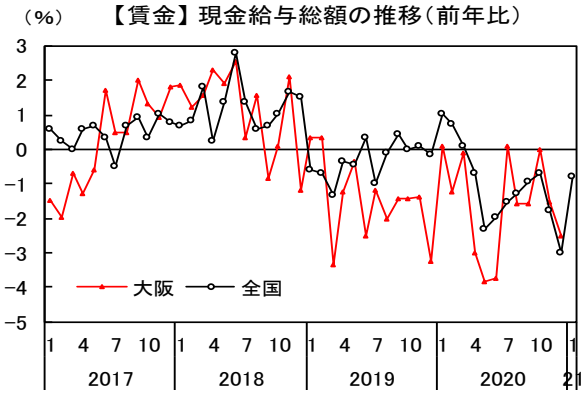
（出所）経済産業省「大型小売店販売状況」



（出所）経済産業省



（出所）国土交通省「建築着工統計」



（出所）厚生労働省「毎月勤労統計調査」

本件照会先：大阪本社 荒木秀之
TEL:06（4705）3635 mail:hd-araki@rri.co.jp